

ビジョン開発株

和歌山県和歌山市 (旧社名 株シムス)

FFC導入10年を超え、繊維分野でのFFCテクノロジー活用の先駆者としてご活躍いただいているビジョン開発の江川様。飽くなき探求をされ、昨年から大学・研究機関が有する特許技術とFFCテクノロジーとの相乗効果による21世紀に求められる新繊維の開発・製造への方針転換を契機に、社名を「ビジョン開発株式会社」と刷新されました。今回はそのようなビジョン開発様の繊維のFFC処理をされている工場を取材させていただきました。



工場内での取材風景 (2008年1月10日)



(写真右) 貴志川工業株式会社 代表取締役社長 吉田 卓生 様
生地の加工を委託されている貴志川工業の吉田社長様には工場内を詳しくご案内いただきました。

江川様のお話



ビジョン開発株 江川 正晃 様

FFCテクノロジーを活用するようになって実際衣類を着て使っていただいているお客様から、本当にたくさんのお喜びのお声をいただくようになり、製品に対しても高く評価を頂いております。また、最近では大学などの研究機関と共にFFCテクノロジー活用の繊維の使用による効果などについて調べていただいております。科学的にも素晴らしい成果が出てきております。今後も、更なるFFCテクノロジー活用方法を模索し、より良い製品を提供できるよう研究していききたいと思います。

取材メモ

江川様は、様々な分野に対しての知識をお持ちで、その知識を繊維へのFFC活用にフルに使われていると感じました。FFCテクノロジーに対しても様々な観点からの解釈をされており、それらの知識からFFCテクノロジーの効果が最大に発揮される方法を選択し、活用していらっしゃると感じました。

(取材: 代々)

記事に関する詳細は㈱エフエフシー・ジャパンまでお問い合わせください。
TEL: 059-230-3595 FAX: 059-230-3380

FFC活用方法

生地を貴志川工業へ。
FFC処理を依頼



FFCウォーター(P) FFC元始活水器
を計量 処理水



専用のタンクで加工剤を精製

生地の加工
FFCウォーター(P10)



生地を乾燥



完成!

加工前と手触りが全く違う!



様々な製品に加工

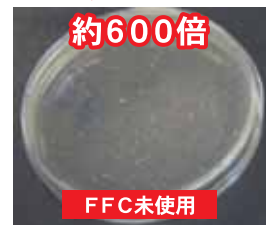
FFC活用による成果

① 制菌性(殺菌活性)

⇒MRSAに対する制菌効果試験

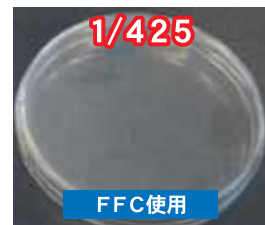


菌数17,000個



約600倍

菌数1000万個



1/425

菌数40個!

制菌・抗菌性の薬剤を一切使用していないにもかかわらず FFC使用区は菌数が減少している

試験結果	試料	生菌数	殺菌活性率
検出数(培養前)		1.7×10^6	
(E33-INDSS/FFC)2/100	オリジナル	4.0×10^6	2.6
無加工試料(注)	無加工	1.0×10^6	

試験菌: Staphylococcus aureus IID-1677 (MRSA/メチシリン耐性ブドウ球菌) を使用
試験方法: ① 抗菌性試験 JIS L 1902 定量試験による。
※試験結果はご提供の試料に対するものであって、商標を代表するものではありません。

試験データ (財団法人 日本紡績検査協会) 2001年3月30日

MRSA (メチシリン耐性ブドウ球菌)
MRSAは黄色ブドウ球菌が耐性化した病原菌であり、入院中の患者に発症する院内感染の起炎菌としてとらえられている。抗生物質が効かないことが多く、感染症は難治性といわれている。

その他にも……

② 防汚性

AATCC/アメリカ工業規格 (1~5級の評価)で48級の効果

→ 汚れてもほとんどシミにならない試験結果!

③ 帯電性

ポリエステル100%免疫活性繊維を綿100%対象布で摩擦試験

→ 基準の1/50以下の帯電性!

④ 消臭性

24時間後に残留濃度が20.5%と消臭効果が認められた。

→ 特別な加工をしていないが消臭効果が認められた!

⑤ ホルムアルデヒド量測定

残留ホルムアルデヒド量測定において

→ 生後24ヵ月以内のベビー用品基準/0.05の1/5以下の0.01以下のデータで安全性が確認された!